

令和4年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和4年度計画		実施状況		
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	
	1.利用者本位の貸出業務への具体的な取組について					
1	取組-1 利用者＝お客さまと考え、ホスピタリティ溢れるおもてなしの心で応えます	(1)利用者本位の貸出し業務の遂行 ■ご要望やご意見および対応内容の館内等への表示	実施	実施	都度、事務所内受付にて要望・意見を拝聴し、対応返答を館内に掲示しました	
		■ご要望やご意見を全スタッフに共有し、課題解決に努めます。	実施	実施	日々の朝礼にて情報交換しました	
		■利用ルールの告知	実施	実施	利用者に部屋の鍵と一緒に案内文のバウチを手渡ししました	
		●情報コーナーの設置 ■当施設の毎月の催事情報を掲示・配布。	実施	実施	館内各所に掲示、イベントスケジュールにて配布	
		■周辺施設の文化事業の情報を収集し、掲示・配布	実施	実施	館内に郵送されてくるチラシ等を掲示	
	2	取組-2 施設の利用者を第一に考えた貸出業務運営を行います	利用者の利便性向上に向けての取組 ●新規WEBサイトの作成(若年層向けにInstagramを利用)	実施	実施	Instagramでの配信、Twitterと並行して運用
			さまざまな利用者への配慮 ■卓上装花用アートフラワー・ステージ用移動式照明機材などの有料貸出開始いたします。	実施	実施	ホールにて利用できるアートフラワー、及び司会者台(レクチャーアンプ用手元灯の照明機材)の貸出開始
			■感染防止用卓上仕切りなどの無料貸出	実施	実施	会議室にて運用
			■多言語での館内案内表示・アンケート実施など、外国人利用者へ配慮した取り組み	実施	実施	大倉精神文化研究所共同パンフレットにて対応
			■利用者のご意見を伺う仕組み作り館内の目に付きやすい場所にご意見箱を設置	実施	実施	ロビーに設置
3	取組-3 透明で公平・正な貸出業務の運営を実施します	(1)個人情報保護への取組 ■代表団体が取得している、(財)日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)の「プライバシーマーク」認証に準拠した個人情報保護に努める	実施	実施	スタッフ間にて情報の共有	
		■グループ内の個人情報保護窓口の管理のもと、法令遵守と情報の漏洩や不正アクセスなどによるデータ破損・盗難・改ざんなどのリスクを十分に理解した上で、取扱い方法・漏洩防止策を構築し、大倉山記念館の個人情報保護管理体制を構築	実施	実施	スタッフ間にて情報の共有	
		■個人情報のリスク調査、管理台帳の作成、リスクチェックシートの作成を実施	実施	実施		
		■利用ルールの告知	(再掲)			
	2.利用率を高めるための具体的な取り組みについて					

文化芸術をはじめとする市民の活動の場となる(使命1)

評価	
自己評価	行政評価
	【評価できる点】
【成果】 ・利用者とのコミュニケーションをきめ細かくとるように努めた  ・利用ルールの告知に関しても部屋を貸し出し時に鍵の手渡しの際に徹底出来た	・利用者へおもてなしをしつつ、コミュニケーションを大切にし、部屋の貸出ルールを徹底したことが確認できます。今後多くの利用者の増加が見込まれると予想できますので、引き続き積極的な声かけをしていくことを期待しております。
【課題】 ・上期は、コロナ禍であり周辺施設との情報交換が取りづらかったため、今後においては積極的に取っていききたい	・インスタグラム及びX(旧:Twitter)を新たに導入したことについては、様々な年齢の利用者へ鑑みて、情報発信するための取組を実施したと確認できます。
	・利用者の活動の場を提供するために、空き状況について、こまめに確認し、ホームページや館内掲示をすることは来館者や継続的な利用者への配慮をしていると確認できます。
	・利用者の意見を集計し、ニーズを把握したことについては、利用者への寄り添った対応であり、今後貸出備品が充実すると期待できます。
	【更なる取組を期待する点】
・利用者への配慮として有料備品を充実させ、コロナ禍対策として感染防止仕切り資材の無料貸し出しした	・個人情報の取り扱いについては、スタッフ全員で受付ルール等を徹底し、個人情報が流出しないよう、引き続き研修等で確認する取り組みを維持してください。他施設では、小さなきっかけが個人情報流出に繋がっている事例が多いため、引き続き、複数人で確認し、疑問点があればすぐに対応せず、複数人で確認するなど徹底するようにしてください。
・多言語においては継続して行い、ご意見箱も引き続き、ロビーに設置	
【課題】 ・継続維持に努めていきたい	・マルシェ等の実施については、北部公園緑地事務所と連携し、地域活性化ができるよう取り組みができることを期待しております。
【成果】 ・個人情報への取り組みは受付対応時に確実に1利用者に対して1受付スタッフを徹底し個人情報の保護に努め情報流出ゼロに出来た	
・また3月度に個人情報の確認講習を実施し、且つ確認テストも行った	
【課題】 ・これまでの1対1の受付対応を継続し、今後も基本動作を確実に行っていき流失の無きよう努めていく	

令和4年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

4	取組-1 施設の貸出状況を館内・WEBサイト上に公開し、空き時間施設の 利用促進を図ります	●横浜市インターネット情報発信ガイド ラインを遵守し、新規WEBサイト(若年層 向けにInstagram等を利用予定)作 成。	実施	実施	Instagramでの配信やTwitterのツイートをと並行して運 用	【成果】 ・先々の利用者状況を小まめにチェックし、空き状況に関し ては(特にギャラリー)HP掲載、館内掲示にて告知し利用率 アップを図った  【課題】 ・ホームページ・館内掲示だけでなく、受付時に利用者 に対して空き情報を直接話すことを行っていき空室の一助とし ていきたい  【成果】 ・今年度は指定管理2期目の初年度にあたるが、過去1期も 含めた7年間の中で初めて別途提出している『収支予算及 び報告書』数値において数値クリアが出来た年度であった。  ・利用率においてはすべての集会室において利用率が目標 達成とはいかなかった(第2集会室 目標90%、実績72%、 第9集会室 目標71%、実績65% 他は目標クリアすること が出来た。  【課題】 ・マルシェに関しては、『秋の芸術祭』では実施出来たので 今後は他共催事業者と協議していきたい ・利用率においては控室・会議室にて利用頂く事を継続ア ピールして対応していきたい  【成果】 利用者の意見を伺う事で、利用者ニーズ把握が出来、貸し 出し備品を考えていくうえで貴重手段と認識できた  【課題】 ・新規の有料備品への取り組みの一助としていきたい	
		■催しの情報や年度事業計画書・報告書 をWEBサイトに掲載	実施	実施	ホームページにて掲載		
		■施設の貸出状況、次回抽選日、各室の 稼働状況をWEBサイトに掲載	実施	実施	空き室状況(特にギャラリー)を掲載		
	取組-2 利用率の低い部屋を利用して頂く為のサービスを検討します	■利用促進の為、期間限定割引対応等 横浜市と検討します。	協議	協議案件	利用率好調につき、今後協議案件としている		
		■ホールなどでの催事に合わせ、控室な どの利用をお勧めし利用率向上を図ります 。	実施	実施	ホール控室として第2集会室を推奨		
		■横浜市と相談し、マルシェなどの会場と して無料貸出事業を検討します。	実施	実施	秋の芸術祭だけでなく、他の共催事業においても説 明しておこなっていく		
取組-3 利用者ニーズの把握に積極的に提案します	■来場者アンケートを分析し、結果を開 示。実現可能な要望等に対応します。	実施	実施				
	■ご要望やご意見を全スタッフに共有し、 課題解決に努めます。	(再掲)	実施				
	■利用者のご意見を伺う仕組み作り館内 の目に付きやすい場所にご意見箱を設置	(再掲)	実施	ロビーに設置			
<b>評価項目</b>		<b>令和4年度計画</b>		<b>実施状況</b>		<b>評価</b>	
<b>I 文化事業</b>	<b>指定管理者提案(要旨)</b>	<b>取組内容</b>	<b>目標</b>	<b>年間実績</b>	<b>説明</b>		
文化芸術をはじめとする市民の 活動の場となる (使命1)	3.新規の利用者、来館者を増やすための具体的な取り組みについて						
	取組-1 施設の利用方法を積極的に提案します	■横浜市と相談し、マルシェなどの会場と して無料貸出事業を検討します。	(再掲)	実施	秋の芸術祭にて実施したが、他共催事業とも協議してい く	【成果】 秋の芸術祭にて行ったが、盛況とは言えない状況であった 【課題】 告知を含めて要検討としていきたい  【成果】 ・リモート会議に関しては、ホールを中心に年度内にて2件 ルーターの新規備品を使い実施出来た  【課題】 ・集会室の会議用の小集会室においてルーターを用いても 通信が入りづらい事が多いため、今後考慮したい	
		■マルシェ等販売会場としての提案を行 います。	実施	実施	同上		
		■リモート会議・サテライトオフィスなどの 需要に対応します	実施	実施	配信用のルーター等の新規備品にて対応した		
	取組-2 大倉山アートマップ、アーティストバンクを創設します	■寄り道コンサート・花音コンサートに参 加したアーティストにアーティストバンクへ 登録を依頼します。	実施	実施	参加演者へ大倉山記念館の利用を推奨した	【成果】 ・寄り道コンサートに出演した演者に関しては記念館のメン バーとして依頼していく  【課題】 ・成果を受けて、継続的な利用者になってもらいその後事業 協力者としてお願いすることを協議していく	
		■ギャラリーを利用されたアーティストとの 方にアーティストバンクへ登録を依頼しま す。	実施	実施	同上		
		■アートマップを作成し、自主事業や共催 事業において周知します。	実施	実施			
	取組-3 施設の魅力を伝えるために見学会を開催し、施設の魅力を伝えます	■施設見学ツアー参加:希望校に対応	実施	実施	大倉精神文化研究所の協力のもと、小学校多数の教育 の一環の一助として対応した	【成果】 ・今年度は大倉精神文化研究所と協力して小学校・保育園 の希望に対応  ・ガイドツアーに関してはオープンデーを中心に継続的に 開催していく 【課題】 ・希望校が来館される日時が重なる事が多いため、大倉精 神文化研究所と密に連携していく	
		□観梅会や大倉山オープンヘリテイジな どの市内イベント開催時のガイドツアー	年4回	年10回	塔屋ツアー(港北ボランティアガイド)にて対応(年間10 回以上実施)		
	取組-4 来館者同時が交流できる大倉山記念館を提供します	□大倉山ミーティング(利用者懇談会)の 開催	年2回	年3回	公園愛護会総会、北部公園緑地事務所との春・秋花苗 植えにて開催(年3回実施)	【成果】 ・消防訓練時に同時参加頂き要望を拝聴することが出来た  【課題】 ・即時対応出来ることから、改善していくようにしていく	
□サークルラウンジを開催		年1回	1回実施				

令和4年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和4年度計画		実施状況		
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	
文化財を活用し魅力を発信するとともに、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する(使命2)	提案-1 施設自体の魅力や歴史の発信を行います					
	取組-1 施設の特性を活かし魅力や歴史をPRする事業を市民と共に地域へ向けて展開します	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大倉精神文化研究所作成「ロケ地マップVOL2」を配布し、記念館の魅力の向上につとめます。</li> </ul>	実施	実施	年間共催事業を中心に配布、秋芸・観梅会・こどもフェスタ・小さな丘のメリークリスマス等(計5回)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設紹介パンフレットの作成および情報発信</li> <li>■現状のパンフレットを参考に、当施設のパンフレットを刷新(コンサートなどの開催された写真や撮影利用時実績などを入れ、記念館の魅力アピールできるツールとしてバージョンアップを図る)</li> </ul>	実施	実施	パンフレットを作成した刷新部分に関しては、個人情報を鑑み個人の特長が出来ないように考慮しツールを作成した(画像のぼかし等)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■パンフレットを館内で配布するほか、WEBサイトからのダウンロードも可能とする</li> </ul>	実施	実施		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■重要な箇所は、英語等の多言語での記載も検討</li> </ul>	実施	実施		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>□催事や地域の季節の情報をお伝えするチラシを制作。館内・商店街・最寄駅・近隣施設等で配布</li> </ul>	年4回	年4回	商店会・自治会との運動にて実施 四半期毎に実施	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>□チラシの新聞折込</li> </ul>	年4回	年12回	毎月の地域特定新聞への対応	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史的建造物への興味喚起に向けての取組</li> <li>■大倉山精神文化研究所や横浜歴史資産調査会(ヨコハマヘリテイジ)と連携し、配布用チラシを常備し、一般見学者や総合学習授業で来館する小・中学生に配布</li> </ul>	実施	実施	毎年横浜歴史資産調査会の会員登録し、送付される書面を館内掲示、また見学にて来館される学生・一般見学者への希望者へ配布	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●オープンデイ</li> <li>□年2回実施(2月及び9月)</li> </ul>	年2回	年2回	2月、9月の年2回実施	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>□WEBサイトやSNS等での自主的な発信</li> </ul>	3件以上	3件		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計</li> </ul>	80%以上	85%		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●夏のオープンギャラリー</li> <li>□年1回実施(8月)</li> </ul>	年1回	年1回	8月に開催	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>□WEBサイトやSNS等での自主的な発信</li> </ul>	3件以上	3件		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計</li> </ul>	80%以上	80%		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●オープンデイ</li> <li>□年2回実施(2月及び9月)</li> </ul>	年2回	年2回	2月、9月の年2回実施	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計</li> </ul>	80%以上	85%		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●おしえて!まちの先生提供します。</li> <li>□年1回実施(2月)</li> </ul>	年1回	年1回		
<ul style="list-style-type: none"> <li>□WEBサイトやSNS等での自主的な発信</li> </ul>	3件以上	3件				
<ul style="list-style-type: none"> <li>□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計</li> </ul>	80%以上	85%				
<ul style="list-style-type: none"> <li>●今昔建築講座</li> <li>□年2回以上開催(6月～)</li> </ul>	年2回以上	年2回	大倉精神文化研究所との共同にて集会室及びホールにて開催			
<ul style="list-style-type: none"> <li>□WEBサイトやSNS等での自主的な発信</li> </ul>	3件以上	3件				

評価	
自己評価	行政評価
	【評価できる点】
【成果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大倉山精神文化研究所と協力して、施設内の見学会を実施することで、大倉山記念館施設全体の魅力を伝えていることが確認できます。今後も施設をアピールし、多数の方々が利用できる施設と認知されるために、今後も見学会を複数回実施することを期待します。</li> </ul>
【課題】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>
【成果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットについては、英語版を作成し外国人の方が施設について知ることができるよう配慮した対応であることが確認できます。</li> <li>・パンフレットは通常バージョンと大倉精神文化研究所とコラボして作成した英語バージョンの作成、館内や商店会、自治会にも定期的に会合に出席しアピール出来た</li> <li>・地元商店街や自治会とも連携し、施設の存在感のアピールをしていることが伺えます。引き続き、地域と密接に対応いただくことを期待しています。</li> </ul>
【課題】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生に向けた事業を実施し、文化財としての魅力や存在意義について、伝えたことが確認できます。</li> </ul>
	【更なる取組を期待する点】
【成果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート集計における満足度においてもどの事業も80%を超える満足度であり各事業とも成功していると思われる</li> </ul>
【課題】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートにおける少数意見も大切に拝聴していきたい。今後における自主事業の参考とすべく取り入れていく</li> <li>・様々な事業が行われており、WEBやSNSについて発信していること確認できます。特にSNSについては、様々な年齢層が見る情報収集手段です。大倉山記念館を幅広い世代へ知ってもらえるよう、事業についての発信方法を工夫してください。</li> <li>・人気事業である「フラワーアレンジメント教室」について、固定の利用者だけでなく、新規利用者が参加できる方法を検討し、更なる集客を得られることを期待しています。</li> </ul>

令和4年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和4年度計画		実施状況		
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	
2	取組-2 当施設の文化的な価値を受け継ぐために、子どもたちへ伝える機会を提供	●歴史的建造物への興味喚起に向けての取組 ■大倉山精神文化研究所や横浜歴史資産調査会(ヨコハマヘリテージ)と連携し、配布用チラシを常備し、一般見学者や総合学習授業で来館する小・中学生に配布	(再掲)	実施		
		●大倉山なるほど物語 □年1回実施	年1回	年2回	港北ボランティアガイドによるガイドツアーをオープンデー開催時に同時にて実施(2月、9月の年2回)	
		●子ども記念館探検 □年1回実施	年1回	未実施	コロナ禍により今年度は未実施	
		●職業体験 □年1回実施	年1回	年2回	近隣の中学生がボランティアの一環として『こどもフェスタ』及び『小さな丘のメリークリスマス』にて体験	
	提案-2 地域の文化活動の拠点として、市民を対象とした鑑賞の機会の提供、創作活動の導入となる講座・ワークショップ等を自ら主催で行います。					
1	取組-1 現在実施している事業の継続・発展を進めます	●大倉山スタンプラリー □年1回実施(4月)	年1回	3月末~4月初にて実施	近隣の商店会の主催を受けて実施	
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	1件以上	3件		
		●観梅会開催時の館内梅装飾 □年1回実施(2~3月)	年1回	年1回		正面入り口に1対にて設置
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上	5件		
		●室内楽シリーズ □年1回実施(10月)	年1回	10月実施		港北区民交響楽団にて開催
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上	4件		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	85%		
		●大倉山記念館「ワークショップ」(Artsワークショップ) □年1回(教室回数6回)実施(7月~10月)	年1回	年1回		11月の秋芸にて『苔玉』の作り方にて開催
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上	3件		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	80%		
		●大倉山エリア・ミュージシャンによる演奏会開催 □年1回実施(10月)	年1回	年1回		『世界の音楽を楽しむ』のタイトルにて開催 コロナ禍にて月変更2月開催
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上	5件		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	85%		
		●季節のフラワーアレンジメント教室 □年6回以上開催(4月~)	年6回以上	9回		毎回当日に定員が埋まる人気事業。(中級編は1日2回の講義)
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上	6件		
□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	98%				
●大倉山寄り道コンサート(大倉山サロン) □年4回以上開催(9月~)	年4回以上	8回		各回、異なる楽器の演奏を第6集会にて実施 (参加人数が多い場合は回数を増やして対応)		
□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上	5件				
□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	90%				
●公募作品をARとして配信 □年3回配信	年3回	年4回				
□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上	5件				
□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	85%				

文化財を活用し魅力を発信するとともに、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する(使命2)

評価	
自己評価	行政評価
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大倉山なるほど物語及び職業体験は共催事業の中でそれぞれ実施出来た</li> <li>中学生にとっては、どちらも興味深く体験してくれたと思う</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども記念館探検はコロナ禍の為、今年度は延期としたが、次年度は実施出来るよう準備していく</li> </ul>	
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どの事業においても計画どおり実施出来た。特に自主事業であるフラワーアレンジメント教室においては、販売開始日もしくはその月によっては申込開始後1時間で完売、どの月も販売開始翌日には完売する、大倉山記念館事業のなかでもトップクラスの人気事業であり、今年度から初級編、中級編とレベルを変えて集客したが、期待以上の結果を残すことが出来た。</li> <li>『寄り道コンサート』も記念館の主旨としては週末の屋下がりにもたまたま来館した利用者に対して軽い気持ちで簡易なコンサート聴いてもらうスタンスで参加予約者に提案した</li> <li>コンサートを行う演者においても記念館の『寄り道コンサート』に出演したい方が希望者多数となっている(1年先まで決定済・四半期に1回のペース)今後においては出演者経験者によるコラボレーションコンサート等に発展させていく</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後フラワーアレンジメント教室は人気のある事業であるため継続しておこないたいが、回数の増、来館ではなくリモートにての開催等、これまでにない考え方にて参加者の拡大に向けた手法を構築していきたい</li> <li>『寄り道コンサート』は毎回集会室の定員をオーバーする盛況であり、当日に回数を増やす等で対応しているのが現状であり、今後の対応方法を検討したい</li> </ul>	

令和4年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和4年度計画		実施状況	
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
文化財を活用し魅力を発信するとともに、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する(使命2)	2 取組-2 感として次世代の芸術文化活動を担う人材育成・支援に積極的に取り組みます	●大倉山記念館・第10回高校生ギャラリー&ミュージックフェスタ □年1回実施(1月)	年1回	未実施	今年度はコロナ禍を勘案して中止
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上	-	
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	-	
		●大倉山記念館「落語会」 □年1回開催(1月)	年1回	1回実施	年明け最初の事業にて毎年楽しみにしている参加者多数いた
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上	5件	
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	90%	
		○県立白山高校美術コース作品展 □年1回実施(7月)	年1回	年1回	7月にコロナ禍を考慮し、規模縮小して開催
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%	83%	
		●地元若手アーティストの作品展とワークショップ開催 □年一回実施(9月)	年1回	年1回	オープンデーにて開催
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計:80%以上	80%以上	85%	
		○国際学生交流会(ハーバード) □年1回実施(6月)	年1回	未実施	今年度は無し
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	-	
		●文化芸術活動団体の施設WEBサイトでの紹介 利用頻度の高い施設や地域で活動する団体を中心に段階的に展開			各活動団体に紹介を協議を行う
		□紹介団体:3団体以上	3団体以上	3団体	
		提案-3 さまざまな経済事情にある方や、高齢者や子どもたち、外国にルーツを持つ方、障がいのあるなしに関わらず、あらゆる市民を対象として、事業展開を行います			
1 取組-1 子育て世代の支援プロジェクトを立ち上げ、運営を検討します	○のんびるフェスタ □年1回実施(3月)	年1回	未実施	0歳から未就園児が対象のイベント(人形劇、紙芝居他)の為今年度はコロナ禍の為、中止 但し、次年度は夏頃に縮小して他の事業を考慮する予定	
	□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上	-		
	□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	-		
	○小さな丘のメリークリスマス □年1回実施(12月)	年1回	年1回	12月月初にギャラリーと1日終日集会室を押さえて実施	
	□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	90%		
2 取組-2 障がいをもった方々の文化芸術活動を積極的に支援します	□ギャラリーにおいて、障がい者スポーツセンター「ラポール」の作品展を行います。	年1回	未実施	コロナ禍の為、延期	
	□ギャラリーでの障がいのある方々のアート作品展覧会を誘致いたします。	年1回	未実施	同上	

評価	
自己評価	【評価できる点】
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『高校生ギャラリー』に関してはコロナ禍の為、3年間中止となっている。次年度に関しても年度幹事校との打ち合わせにより開催に結び付けていきたい</li> <li>・『落語会』に関しては慶應義塾大学の落研の学生が演者となり、大倉山記念館年明け最初の自主事業であり、毎年楽しみにされている利用者が多く、恒例事業となっている</li> <li>・演者の方は学生であるため毎年違ったメンバー構成になるが、毎年高評価を受けており、大倉山記念館側も楽しみな事業である</li> <li>今後においては1年で年明けだけではなく複数回依頼していきたい</li> </ul> <p>・白山高校美術部の作品展は『高校生ギャラリー』が開催延期になったが、規模を縮小してコロナ禍の対策を綿密に行い事業開催した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規模縮小に伴い来館数は小規模となったが、満足度は80%と高評価であった</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生の事業の為、万が一開催がなくなった場合は、次年度以降変更届けを提出し違う事業を考慮していく</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設を活用した幅広い文化活動を実施したとともに、高校生や大学生と連携し、次世代の芸術文化を啓発したことが評価できます。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響下でも高校生の美術作品等を展示する機会を実施するために対策をしつつ、実施したことが評価できます。</li> </ul> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元大学との事業について、回数を増やしての実施や新型コロナウイルス感染症対策により、実施できなかった事業を次年度以降に実施できることを期待しています。</li> </ul>
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『のんびるフェスタ』はコロナ禍の為中止し、大規模なフェスタではなく違ったものになるかもしてないが、子どもに関しての事業である旨は変わらずにしていきたい。</li> <li>・『小さな丘のメリークリスマス』は開催実施、こちらも子どもを対象とした事業であり過去30年以上前からの実施をしている</li> <li>・大きな問題もなく好評のうちに終了出来た</li> <li>・中学生のボランティア活動も兼ねており今後にも地域の活性化として盛り上げていきたい</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを対象とする事業は今後も地域の方と開催に向けて協議していく</li> </ul>	
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の為、開催なし、今後改めて再打合わせを行っていく</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同上</li> </ul>	

令和4年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和4年度計画		実施状況	
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
文化財を活用し魅力を発信するとともに、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する(使命2)	提案-4 区内の学校で芸術文化プログラムを提供します				
	1 取組 地域の子どもたちに対して文化芸術に触れる機会を提供する為、継続して横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業に参画します。(指標3校)	●横浜市芸術文化教育プラットフォームへの参画 □学校プログラムの実施	年3校以上	年3校	横浜市内の小学校にて記念館ご利用者の方に依頼して学校訪問して実施
		●地域施設への出張事業 □年1回実施(9月)	年2回	年2回	上記プラットフォームの延長により同利用者と事業展開
		□WEBサイトやSNS等で自主的な発信	1件以上	3件	
		□アンケート結果満足度	80%以上	85%	
	2 その他の取組 記念館の活動、魅力を広く周知するための広報活動	□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	83%	
		●広報よこはま等へ掲載依頼および当グループの広報連携の取組 ■「広報よこはま」や港北区区民活動支援センター発行の情報ツール等への積極的な掲載依頼	実施	実施	港北区役所地域担当との連携を密に各月の『広報よこはま』は毎月掲載
		■当グループのWEBサイトへのリンクや広報室を活用したプレスリリースによる広域の広報PRを実施	実施	実施	
		●ソーシャルメディアを活用した情報発信 □Facebookでの情報発信:4日/1回以上	4日/1回以上	3日/1回	Twitter、Instagramで情報も発信 1ヶ月において4日に1回が発信目標に対して実績としては3日に1回発信出来た 月目標8回が実績として10回発信
		●関係団体との連携による文化財の保護 ■修繕を実施する際は、横浜市歴史資産調査会(ヨコハマヘリテイジ)監修のもと、その内容について可能な限り情報を開示	実施	実施	
■当グループが管理運営する他の文化財施設や全国の文化財施設との連携を深め、情報共有・情報交換を行う		実施	実施		
●撮影・ロケの積極的な誘致(1)メディア撮影・ロケへの協力 □撮影協力:目標 年間35件	年35件	年間38件	テレビドラマ、映画、CMの動画及び女性ファッション誌のスケジュール画(38件)		
■協力会社やロケ地コーディネート会社への積極的な情報の開示	実施	実施			
○ウエディングフォトロケーションとしての活用 □撮影協力:目標 年間2件	年2件	年3件	ウエディング(前撮り3件)		
1	取組-1 地域住民や町内会、学校、近隣施設等へ積極的に伺い、協働を推進します	●ボランティア養成講座検討会 □検討会開催:年1回以上	年1回以上	年2回	共催事業にて実施開催(5月・12月)
		●ハニーカフェ&マルシェ □実施:年2回以上	年2回以上	未実施	ガイドラインに伴い未実施
		●ICTを活用した地域回遊イベント □実施:年1回以上	年1回以上	年1回	スタンプラリーと同時実施
		●地域一体防災訓練の実施 □実施:年1回以上	年1回以上	年1回	3月に大倉山精神文化研究所様他と実施
		●大倉山公園愛護会の活動への協力 (1)大倉山公園愛護会による花の苗植え活動の継続と発展 □植え付けおよびお手入れ活動:年4回以上実施	年4回以上	年9回	愛護会及び資源循環局北部公園事務所との連動にて大倉山公園の花壇の雑草除去に基本毎月25日に開催
		(2)植え替え後の花苗をボランティア協力者へ配布 □植え替え作業時年2回	年2回	年2回	6月・11月にそれぞれ春・秋の花苗植えの実施

評価	
自己評価	行政評価
	【評価できる点】 ・施設の魅力を発信するために、継続して横浜市芸術文化教育プラットフォームへの参画し、関係部署より高評価を得たことが確認できます。
【成果】 ・『プラットフォーム』に関しては本年度も計画どおり実施出来た 3校のうち1校は回数を3回に分けて行い、3校5回の実施になった。学校側及び横浜市の担当者からも高評価を得た 【課題】 ・学校に出向くのが冬場になることが多く特に1月～2月の予定ではインフルエンザによる学級閉鎖の為、延期になることがあり、講師の方との調整が困難であったため、次年度においては出向く時期を7月から遅くとも年内12月までとし影響を受けないようにしたい	【更なる取組を期待する点】 ・子どもたちへの次世代事業の特に学校で実施する事業は、今後スケジュールを事前に調整し、延期にならないよう確認しながら対応してください。 ・新型コロナウイルス感染症の規制が緩和されたまので、実施を中止した事業ができることを期待しております。
【成果】 ・広報よこはま新聞に関しては、毎月イベント紹介の掲載が励行化されており、大倉山記念館の認知度アップに寄与出来ているので継続していく ・大倉山記念館の情報発信においても各種SNSより小まめに発信出来、利用者から良き反応を頂けている ・撮影においても動画である映画、テレビドラマ、CM撮影と確実に件数を確保でき、自主事業売り上げに大いに寄与できている ・ウエディングフォトロケーションもスケジュールの『前撮り』にて件数を見込めた ・また、依頼者の横のつながりによりロケコミにて来館(ロケハン)されることが多く、1件1件丁寧に対応することで今後につなげられると思うので大事にしていきたい 【課題】 ・撮影において過去に行った館を貸し切った(休館日前日の日曜日)『人前式』を受注出来るように改めて関連各所にアピールしていく	・今後の共催事業の運営について、どのような部分を残して進めていきたいのか、普段利用している団体などにも協力を仰げるよう、次世代に繋げるために引き続き協議をしてください。
	【成果】 ・ボランティア活動は5月開催の『こどもフェスタ』&12月開催の『小さな丘のメリークリスマス』にて展開出来た ・マルシェはコロナ禍の為、未実施であったので、次年度は実施を目指したい ・大倉山公園愛護会に関してはほぼ毎月25日での花壇清掃・雑草除去と年2回の花苗植えを横浜市環境創造局北部公園緑地事務所と連携を密に行えた 【課題】 ・マルシェに関しては共済事業者とのコラボレーションによる提案を模索していきたい

文化財を活用し

令和4年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
ヘリカルタワーの魅力を発信するとともに、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する(使命2)	取組-2 大倉精神文化研究所や大倉山公園をはじめ、近隣の地域施設(文化・福祉等)や各種団体、商店街、自治会等とのネットワーク構築につとめ、文化的 commons の形成を進めるとともに、文化芸術活動を通じた地域連携活動を展開します	●大倉山記念館 花めぐり □年1回以上開催(2月~4月)	年1回	年1回	梅~桜の開花時期に実施	【成果】 『花めぐり』に関して2月~4月の梅~桜をテーマにした公園内の巡回案内を説明し行えた ・港北区役所及び実行委員会における『観梅会』を積極的に告知し大倉山梅園への道すがら記念館に来館頂けるよう周知出来た(期間来館者増に繋がった) ・このことにより地域連携を密に行い利用者・地域住民への案内告知が浸透し、更なる認知度向上になった 【課題】 ・港北区内を中心とした他の文化施設との連携による互いの支援が今後の課題の一つとなってくるので充実させていきたい	
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信:3件以上	3件以上	3件			
文化芸術を媒介として地域の力を結び付ける(使命3)	取組-3 既存の共催・協働事業は継続して支援し、地域の課題解決や文化芸術のハブ拠点としての機能を高めるとともに、人と人が文化芸術を通じてつながる体制を構築します	○大倉山講演会 □年4回実施(3~6月)	年4回	年4回	大倉精神文化研究所様の講演を記念館ホールにて共催	【成果】 『大倉山講演会』、『大倉山秋の芸術祭』、『大倉山子どもフェスティバル』、『大倉山ドキュメンタリー映画祭』の共催事業はどれも30年以上の経歴を持ち今年度も悉無く無事に実施出来た、どの事業においてもコロナ禍の中は中止、規模縮小であったが、今年度は以前のように大規模で行えた ・今年度以降も大倉山記念館の主幹事業として位置付けを継続していきたく、各実行委員の方々とより良い事業を目指し参加される利用者の満足度を高くしていきたい 【課題】 ・共催事業はどの事業も長い歴史の中で継続されているが、実行委員の方も年齢を重ねてきており、代替わりも否めない。今後もこれまで同様に継続してもらいたいので現状にあった事業展開も協議していきたい	【評価できる点】 地域の活動団体との良好な関係が図られ、共催事業が実施されてことを評価します。 【更なる取組を期待する点】 ・新規事業についての協議ができたとのことです。令和6年度には実施ができるようことを期待しております。
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	75%			
		○大倉山秋の芸術祭 □年1回実施(11月)	年1回	年1回	11月月初にて複数日、全館貸し切りにて開催、港北区のイベントとして認知度が高い		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	86%			
		○大倉山子どもフェスティバル □年1回実施(5月)	年1回	年1回	5月の子供の日に開催、ギャラリーにて展示、館内にて各種催し物の開催		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	90%			
		○大倉山ドキュメンタリー映画祭□年1回実施(3月)	年1回	年1回	3月の最終土・日曜日の2日間開催(ホール集会室にて上映)		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	82%			
		○市内の他の文化施設や文化団体等との連携事業□年1回以上(10月~)	年1回	年1回	港北区主催の連携会議にて各文化施設との交流(9月)		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計:80%以上	80%以上	80%			
取組-4 新規共催事業として演劇やダンスから組織される市民団体による芸術活動の祭典、【大倉山シアターフェスティバル】を検討します	■ギャラリーの新たな活用法として、アートと演劇などのコラボレーションによる事業を検討いたします。	実施	実施	演劇活動されている団体にて利用実績	【成果】 ・実績団体と今後出来る事業を協議の土台作りは出来た 【課題】		
		取組-5 大倉山記念館を地域の文化を発信、交流する場としての結節点とします	■近隣で活動しているアーティストに桶掛けし、ホール・ギャラリーなど、施設内回遊型の「アート・ミーティング」を行い、アーティストの交流・作品発表の場を提供いたします。 □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	年1回	年2回	『アートジャム』のタイトルにて子ども中心のギャラリーを使用しての回遊型子ども育成型事業の実施を共催	【成果】 『アートジャム』として好評であった利用団体が今後回数を増やしたいとの申し入れがあり、前向きに協議していく 【課題】 ・子どもが多数参加される利用になるため十分に事故がないように周知し問題ないようにする
取組-6 これからも横浜市の「先進的な文化芸術」と「地域の文化芸術」の接点を繋いでいきます	●横浜市プログラム『音祭り』への参画 □年1回実施(10月)	年1回	年1回	今年度は『タゴールソング・音と舞』のタイトルにて『音祭り』へ参加	【成果】 ・毎年行われる横浜市プログラムに関しては、これまでも参加しており、今年度も参画した ・参画事業においても今年度は『タゴールソング』とし、記念館では、ほぼ開催されない事業であるため、珍しさも加わり参加者多数であった 【課題】 ・参画にあたって演者への出演料が高額になる為、例年持ち出しになることが懸念材料		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上	90%			

令和4年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和4年度計画		実施状況	
II 施設運営	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
2 組織的な施設運営 (様式14)	1 必要人材の配置と職能	■館長・施設責任者 1名 ・施設全体の管理運営 ・事業計画・予算計画作成 ・市対応、住民対応・地域連携促進	実施	実施	計画人員配置
		■副館長・施設管理責任者 1名 ・館長代理 ・施設維持管理責任者 ・当施設管理経験を生かした修繕計画立案	実施	実施	計画人員配置
		■イベント・広報責任者 1名 ・自主、共催等の事業立案および実施 ・地域連携サポート	実施	実施	計画人員配置
		■イベント広報担当者兼受付スタッフ 1名 ・自主・共催事業運営補佐 ・利用団体のサポート・受付 ・広報作成・活用補佐	実施	実施	計画人員配置
		■受付スタッフ 4名 (内2名はシェアードスタッフとして総務・庶務を担当) ・利用団体受付 ・施設案内 ・自主、共催事業サポート ・行政報告・会計・決済・庶務補佐	実施	実施	計画人員配置 夜間スタッフとして計画プラス1名を高年齢者雇用の一環としてシルバー人材センター派遣の人員を雇用
		■第一種電気工事士 随時(月一回以上) 電気設備全般の月次点検および不具合時の一次対応	実施	実施	構成企業の人員にて配置
		■電気主任技術者(関東電気保安協会) 隔月 ・自家用電気工作物の工事、維持および運用に関する保安監督業務および保守、法定点検	実施	実施	
	2 主要人材の能力担保	■マネジメント研修 連絡調整・業者対応・自主事業運営・総合的能力の取得	年1回	実施	代表企業にて本部研修の参加
		■地域事業研修 市内外で活動する団体の活動理解と施設運営への反映	年1回	実施	港北区役所地域連携会議に参加
		■フロントスタッフ研修 あらゆるご利用者に対応できるフロント能力を取得する。手話など障がい者対応等も学ぶ	年1回	実施	接客接遇研修実施
		■事務研修(上級) 必要な各種帳票類を適切に作成する能力を取得する。個人情報管理に関するスキルアップを図る	年1回	実施	3月に個人情報講習及びそれに伴う確認テストの実施
		■環境保全研修 施設のごみの減量化や資源の有効活用について習得する	年1回	実施	構成企業本部対応
		■エイド研修(初級) 傷病者発生時の適切な救助・連絡対応のとれるスキルの習得	年1回	実施	消防訓練時に実施

評価	
自己評価	行政評価
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人員配置は計画通り配置</li> <li>・特に夕方から閉館22:00の時間帯においてはシルバー人材センターの人員を積極的に雇用し受付業務にて従事してもらう</li> <li>・電気関連資格者は構成企業の担当にて配置済</li> <li>・各研修は都度研修実施</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に問題ないと思うが、記載以外の研修に関しても今後本部と協議して取り組んでいく</li> </ul>	

令和4年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和4年度計画		実施状況	
II 施設運営	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
3 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用(様式24)	1 横浜市の事業へ賛同した取り組み	■国際園芸博覧会に向けてシンボルフラワーを定着させます	実施	実施	港北区の区花であるハナミズキの定着化励行
		■港北区のキャラクター「港北区ミズギー」を起用し当施設のPRを行います	実施	実施	記念館西側に植樹された『シドモア桜』と『ハナミズキ』を利用してPRに努めた
		■シンボルマークを広く公募します	実施	実施	大倉山記念館の記念スタンプである記念館の建物イメージをマークとしていく
		■利用者の特性を生かしながら、国際色豊かな都市であることをアピールできるイベント「集まれ！世界の楽器・音楽・音祭り」を開催します	実施	実施	毎年開催予定の横浜市イベントであるその年開催テーマの事業企画を目標として企画していく
	2 地域協働の促進	■大倉山記念館委員会(仮称)を創設します	実施	協議中	コロナ禍の為、本年は未実施であるが、利用者参加型の委員会を創設していく
		■東急電鉄とのコラボ企画を提案し、実現へ向け検討します	実施	協議中	現状記念館の催し物を印刷した各月のイベントスケジュール配架を依頼しているため、そこから検討していく
		■障害者スポーツセンター・横浜ラポールとの協働事業を開催します	実施	協議中	コロナ禍の為、先方より延期依頼あり
		■地域団体が活動できる場を創出します	実施	実施	各団体の利用を積極的に支援

評価	
自己評価	行政評価
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区花である『ハナミズキ』を当館西側に植樹された『シドモア桜』とともに利用者に定着させてPRに努められた</li> <li>・シンボルマークにおいては記念館の建物イメージを記念スタンプとして来館者に告知しており同シンボルマークとして浸透させていきたい</li> <li>・『集まれ！世界の楽器・音楽・音祭り』は記念館利用者との協力開催にて行う事が出来た</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『地域協働の促進』項目に関してコロナ禍の為未実施案件が多く、次年度以降に各団体と協議していく</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・港北区花である「ハナミズキ」を使用したPRの取組について、利用者にアピールをしたことについては、シンボルフラワーを艇略される取組であると確認できます。</li> </ul> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、主に地域協働について、実施ができなかったと見受けられるため、令和5年度は実施できるよう取り組むことを期待しております。</li> </ul>

評価項目		令和4年度計画		実施状況		
II 施設運営	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	
3 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用(様式24)	1 子育て世代、子ども向けの利用促進	■大倉山花苗里親体験を行います	実施	協議中	現段階実施している愛護会の定例にて行っているボランティア活動を発展したものを検討	
		■こども芸術祭を開催します	実施	実施	『こどもフェスタ』の中における港北区内の幼稚園・保育園・こども園にて依頼しているお絵かきを展示することから発展していく	
		■大倉山読育活動を実施します	実施	実施	『オープンデー』にて紙芝居形式で実施	
		■大倉山ランタンナイトを開催します	実施	協議中	コロナ禍の為、延期	
		■大倉山キッズダンス発表会を行います	実施	実施	『秋の芸術祭』においてキッズチアダンスを発表実施	
		■親子で一緒に楽しめるイベントを定期的に開催します	実施	協議中	コロナ禍の為、今年度は開催されていないが『ブラール』等のイベントを検討	
	2 一般市民向けの利用促進	■防犯・防災啓発イベントを実施します	実施	実施	防火・防災訓練より消防署来館にて指導してもらうことを実施	
		■大倉邦彦と関係の深いタゴールのワークショップや縁ある人物の講義を実施します	実施	実施	大倉精神文化研究所様の協力のもと実施	
		■大規模アートイベントの実施	実施	実施	各共催事業にて実施	
		■地域のアーティストの起用	実施	実施	新規イベントを考える時、記念館利用者を第一候補として依頼をかけていく	
		■多摩大学と連携した伝統文化体験ワークショップ	実施	実施	多摩大学にて担当者及び部員がコロナ感染にて辞退の為、慶應義塾大学にて落語の伝統文化を実施	
	3 事業改善の提案	■外部サービスを導入しスタッフの接客や施設の評価を調査します	実施	実施	本部主導により覆面調査を実施	
		■グループ会社の人材派遣企業との連携により安定的かつ効率的な人員体制を構築します	実施	実施	人材派遣センターより派遣あり	
	4 公益性・公共性・利用者満足度の高いアイデア・ノウハウを積極的に提案し、施設や地域のファンを増やし、リピーター化を進める		(1)花とみどりによる清潔で潤いある環境を演出 ■施設入口に季節の花の寄せ植えやコンテナガーデンを設置	実施	実施	ロビーに各種観葉鉢を設置
			■集会室や館内共有スペースに観葉植物を配置	実施	実施	同上
			■トイレには生花や鉢物を配置し、環境美化に寄与	実施	実施	季節ごとの館内装飾と連動してミニアレンジメントを作成して設置
			■植物を通じて利用者や地域住民に環境保全啓発を実施	実施	実施	

評価	
自己評価	行政評価
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『子育て世代、子ども向けの利用促進』項目においては共催事業である『こどもフェスタ』・『小さな丘のメリークリスマス』協力事業としての『のんびるフェスタ』及びご利用者である保育園延長事業をおこなっている団体と取り組み内容を照らし合わせ実施することが出来た</li> <li>・『一般市民向けの利用促進』項目は各共催事業の団体を中心に協力頂き実施することが出来た</li> <li>・他大学であるが別対応にて実施済となる結果であった</li> <li>・『地域のファン増・リピーター化を進める』項目は代表企業の得意分野である『花』を用いた季節感の提案より館内の装飾を四季を通じて提案した</li> <li>・春夏秋冬の四季でテーマフラワーでアレンジを制作し正面大階段下に1対にて設置し好評を得ている</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『大倉山ランタンナイト』はコロナ禍の為延期、また夜間の開催は防犯上も懸念される事が多いため、次年度は事前確認を十分考慮としていきたい</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春夏秋冬の四季をイメージしたフラワーアレンジや制作し、正面大階段下に設置していることについて、大倉山記念館の強みを発揮していると確認できます。</li> </ul> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・港北区は、18区中一番人口が多く、子育て世代も多い区であるので、子育て世代および子どもたちへターゲットにした事業を複数実施することを期待しています。</li> <li>・大学と連携し、伝統文化ワークショップを実施したことは評価できます。今後は特定の大学だけでなく、複数の大学と連携し様々な事業が実施されることを期待します。</li> </ul>

令和4年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

4 苦情発生・要望への対応	(1)利用者ニーズに応じたさまざまなサービスの導入 ■アンケート調査・利用者懇談会などの利用者のニーズに迅速に対応して、運営にフィードバック	実施	実施	アンケートだけではなく、目安箱の設置により忌憚ないご意見を拝聴し、そのニーズに合った運営をしていく			
	■各室利用者や事業共催者へ事前予約によるお弁当販売の実施を検討	実施	協議中	キッチンカーの導入を検討中			
	■各種貸し出しグッズの提供や車いす、ベビーカーの無料貸出	実施	実施	各種備品は貸し出し中			
	■館内に設置した授乳室をより快適で使いやすい環境に見直す	実施	実施				
	■催事開催時に子どもの預かりを行い、母親が安心して催事に参加できるサービスを検討	実施	実施				
	■館内ベンチの増設を検討	実施	実施				
	■英語等を話せる講師による催事を実施し、外国人も参加できるようにする □実施:年1回以上	年1回以上	協議中	コロナ禍の為、協議中とした			
	■館内に災害時対応機能付きの自動販売機を設置	実施	実施				
評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
II 施設運営	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
3 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用(様式24)	5 施設の特性を熟知したスタッフによる安全・安心・快適を最優先に考えた運営組織を構築し、施設の顔として、利用者や地域住民・市民に最高の「おもてなし」を提供	(1)スタッフ研修 ■運営開始前および運営開始後の定期的かつ計画的な研修を実施 ■接客接客や利用受付、緊急時対応等の基本的な内容の習得を目標とする	実施	実施	都度実施	【成果】 ・各研修は確実に実施済、スタッフミーティングにおいては毎日の朝礼にてその日の業務内容を確認励行 『顔の見える運営』項目においては、自治体とのモニタリング1回とは別に代表企業・構成企業各本部人員を含めてモニタリング前に事前に打ち合わせを励行化 ・町内会・自治会との会合には積極的に参加(毎月25日に愛護会の花壇清掃及び除草除去、自治連合会連絡会も毎月25日の会合に参加し、次月の記念館催事説明及びチラシの配架を依頼励行  【課題】 ・特になし	【評価できる点】 ・業務の基準等に基づき、適切に業務記録等を作成し、実施していることが確認できます。  【更なる取組を期待する点】 ・特筆すべき事項はありません。
		□入社・運営開始前研修:1回	1回	1回	入社前に実施		
		□基礎研修:年1回	年1回	実施	3月に個人情報研修と合わせて実施		
		(2)スタッフミーティングの開催 ■各種ミーティングを開催し、情報共有およびチームワークを醸成 ■朝礼・全体会議等、定期的なミーティングを開催	実施	実施			
	6 利用者や市民へ質の高いサービスを提供できる人材育成を行い、「顔の見える運営」を実践	(1)地域住民、地域の各種団体、関係機関等との連携体制の確立 ■地域住民へのお声かけなど、スタッフから積極的にコミュニケーションを図る ■ゴミ拾いや花植え活動など、明るく見通しの良い環境づくりに努める (2)大倉精神文化研究所との連携強化 ■日頃からスタッフ同士の積極的なコミュニケーションを図る	実施	実施		【成果】  【課題】	
		□連絡調整会:月1回(モニタリング)	月1回	月1回			
(3)地域の各種団体等との連携強化 ■大倉山地区連合町会や大倉山夢まちづくり実行委員会への加入を検討		実施	実施				
□町内会や地域の集会への参加:年4回 (4)官民協調体制の確立	年4回	年10回	自治会・連合会に出席、毎月25日の夕方に参加				
4 その他施設運営に関する事項	休館日の届け出	提出済み	実施	実施		【成果】	
	許認可及び届け出	提出済み	実施	実施		【課題】	

令和4年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

運賃に関する事項	目的外使用料の申請	提出済み	実施	実施	
	財務状況の確認	確認中	実施	実施	
評価項目		令和4年度計画		実施状況	
Ⅲ施設管理	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明+U239
1 保守管理業務(使命4)	1 経験と実績を活かした的確な日常管理	(1)安全・安心できる施設の維持 ■「業務の基準」の設備等保守管理項目を遵守し、日常的・定期的な施設点検を実施。必要に応じて緊急点検を実施	実施	実施	
		■施設・設備維持管理の専門スタッフを配置	実施	実施	
		□定期的な施設点検:月1回	月1回	実施	毎月の休館日に実施
		□建築物点検マニュアル及び建築物定期報告に準拠した点検:年1回	年1回	実施	
		●駐車場の運営 ■安全に充分注意し、希望者ができるだけ駐車場を利用できるよう臨機応変に対応	実施	実施	各団体基本的には1団体1台にて依頼であるが、空いていれば臨機応変に複数台の駐車を承認
		○全スタッフの統一された高レベルの巡回点検 □毎日、開閉館時にチェックシートを用いて、駐車場内の巡回点検を実施	1日2回以上	実施	10時、15時の巡回及び消毒の励行
	2 高い専門性を有する市内事業者による定期・法令点検の徹底	(1)中長期視点での施設・設備の維持管理計画の立案 ■引継ぎ期間中に構成団体および市内の専門事業者が施設・設備を点検し、中長期視点での施設・設備の維持・保全計画を立案する	実施	実施	
		■引継ぎ期間中に、修繕履歴から現状と課題の把握、部品調達先の確認する	実施	実施	
		□中長期計画の策定:年1回	年1回	実施	
	3 どなたにも安全・安心で快適な空間を提供	(1)快適で安心できる環境の維持 ■「業務の基準」の清掃項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、チェックリストを作成し、日常・定期清掃を実施	実施	実施	
		■構成団体の専門家による日常点検 チェックリストを作成し、日々、スタッフが巡回点検	実施	実施	
		(2)樹木・公園設備等の点検管理 ■代表団体のグループ会社に所属する樹木医や造園施工管理技能士による植物の点検と日常手入れの助言を実施	実施	実施	公園内の高木に関しては北部公園緑地事務所へ点検、及び伐採を依頼した
		□樹木診断:年1回	年1回	実施	花壇耕耘の際に同時点検実施
		■「業務の基準」の公園管理項目一覧を遵守	実施	実施	
		■北部公園緑地事務所との連携	実施	実施	
	4 適正な情報公開	(1)迅速で適切な情報公開 ■情報の公開にあたっては、市の情報公開条例を基本とした「情報公開規定」を策定し、適切な情報公開体制を確立	実施	実施	
■施設の管理運営に関する情報は、市民(利用者)からの請求(問い合わせ)があった時だけでなく、積極的に自主的な情報提供を行う		実施	実施		

評価	
自己評価	行政評価
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『的確な日常管理』項目は毎日の定時点検を確実に実施</li> <li>・月1回の休館日に定期的な点検を実施</li> <li>・駐車場の台数が6台と少ないため、基本的に各団体1台にて依頼しているが、利用日前日に確認して空いている状況では2台目以降の手配を行う</li> <li>・『快適な空間を提供』項目に関しては大倉山公園を管轄する環境創造局北部公園事務所と日頃から密に連携しており、高木伐採・剪定をはじめ大倉山記念館での撮影時にも声がけし紙面でも協力の依頼を徹底している</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の対応として大倉山記念館の入り口2ヶ所に消毒液を設置し、毎日の定時定点巡回を行う際に使用量を確認し消毒液の継ぎ足しを行っているが、利用者に対して消毒以外のコロナ対策を早めに告知できるよう市との密な連携を構築していく</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に施設の保守管理をしたことが確認できます。</li> <li>・利用者が安全に施設を利用できるよう、北部公園緑地事務所と連携しながら点検していることが確認できます。</li> </ul> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今の風雨等により、公園内及び施設周辺の流木が倒木することが増加しています。日頃から施設周辺を確認し、特に利用者が使用するスペースについては北部公園緑地事務所と連携し、注視するようにしてください。</li> </ul>

令和4年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

5	人権の尊重	(1)人権尊重の取組 ■スタッフの採用にあたっては、男女の区別なく適材適所の人材登用を進める	実施	実施	
		■障がい者雇用の促進を図るとともに、授産施設からの物品購入をはじめ、障がい者との共生に積極的に取り組む	実施	実施	シルバー人材センターより紹介の人材を雇用した
		■すべてのスタッフに対し、業務基本研修、人権研修等を実施	実施	実施	
		□人権研修:年1回	年1回	実施	

評価項目	令和4年度計画	実施状況			
------	---------	------	--	--	--

Ⅲ施設管理	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
6	環境への配慮	(1)環境への配慮 ■環境に配慮し、廃棄物発生抑制に努める	実施	実施	
		■「市役所ごみゼロ」「横浜市脱温暖化行動指針」「ヨコハマ3R」等市の施策や事業に協力する	実施	実施	
		■花苗の植え付けを通じて、子どもたちをはじめ市民に環境学習機会を提供し、環境意識の啓発に努める	実施	実施	
7	市内中小企業への優先発注	(1)市内中小企業振興の取組 ■横浜市中小企業振興基本条例に基づき、資材・消耗品等の購入や設備機器管理、定期点検等の委託業務は、市内中小企業等へ優先的に発注を行い、地域企業の育成に貢献する	実施	実施	
8	備品等の適切な管理	■備品等は、常に良好な状態に保ち、管理します。	実施	実施	
		□年1回、物品管理簿の棚卸を行い、物品が適切に管理されているか確認し、市に報告します。	実施	実施	

評価項目	令和4年度計画	実施状況			
------	---------	------	--	--	--

Ⅲ施設管理	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
1	市の指定有形文化財であることを十分に理解し、横浜市文化財保護条例を遵守	(1)施設・設備の予防保全 ■過去の修繕履歴をしっかりと引継ぐ	実施	実施	
		■現状の把握、問題箇所の抽出、材料・部品等の調達先(メーカー等)の確立を行う	実施	実施	
2	予防保全に努め小破修繕を実施し、施設の長寿命化と経費削減を両立	(1)中長期視点での施設・設備の修繕計画の立案 ■引継ぎ期間中に構成団体および市内の専門事業者が施設・設備を点検し、中長期視点での施設・設備の修繕計画を立案	実施	実施	
		□中長期修繕計画の策定:年1回	年1回	実施	

【成果】 『人権の尊重』項目に関しては各項目毎実施出来ている 研修においても同様である 【課題】 ・特になし
---

評価
----

自己評価	行政評価
【成果】 ・『備品等の適切な管理』項目に関してはアンケートより利用者ニーズを読み取り、時代にあった新規備品を取り入れていき利用者目線を注視した 【課題】 ・特になし	【評価できる点】 ・日常的に施設の保守管理をしたことが確認できます。 ・利用者が安全に施設を利用できるよう、北部公園緑地事務所と連携しながら点検していることが確認できます。 ・日頃から施設の維持管理を実施し、巡回点検をこまめにしていることが確認できます。 【更なる取組を期待する点】 ・利用者に対して、引き続き市民利用施設であり、文化財であるということを知り、施設的美観を保つよう継続的に取り組んでください。

評価
----

自己評価	行政評価
【成果】 ・実施済 【課題】 ・特になし	【成果】 ・実施済 【課題】 ・特になし

令和4年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

2 環境維持管理 業務 (使命4)	3	「利用者・地域住民の安全・安心」を第一に考えた予防的対策と緊急時対応体制の整備を実施	(1)「利用者・地域住民の安全・安心」を第一に考えた予防的対策 ■事故などの原因となる現象や状況(ハザード)をまとめた、ハザードマップを作成	実施	実施	
			■防犯カメラの設置箇所について、適宜見直しを行う	実施	実施	
			■「港北AAA防犯情報メール」への登録	実施	実施	
			□日常巡回点検:1日2回以上	1日2回以上	実施	10時と15時の2回実施
			□外部委託スタッフを含む全スタッフへの研修および勉強会:年2回	年2回	実施	防災訓練のある9月・3月に実施
			(2)利用料金の確実な管理 ■事務所に、警備会社が提供する入金機を設置	実施	実施	毎日、その日の利用料金を入金
			(3)利用者の安全・安心の確保 ■スタッフによる定時巡回を実施	実施	実施	
			■スタッフ不在となる時間帯は機械警備を行い、24時間の警備体制を構築	実施	実施	
3 保安警備業務 (使命4)			□日常巡回点検:1日2回以上	1日2回以上	実施	10時と15時の2回実施
			(4)全スタッフの統一された高レベルの巡回点検 ■毎日、開閉館時にハザードマップを基に作成したチェックシートを用いて、施設内の巡回点検	実施	実施	
4 防火・防災等 (使命4)	1	情報の一元管理と市・本部との情報共有体制の構築および、緊急時の速やかな対応と施設被害の最小化、迅速な利用再開への対応	(1)緊急時対応体制の構築とマニュアルの整備 ■防火管理者を配置	実施	実施	
			■防火計画書を作成し、消防署へ提出	実施	実施	
			■横浜市防災計画に基づく対応マニュアルと連絡網を整備	実施	実施	
			■連絡網は、市・区に提出	実施	実施	
			■各関連機関の電話番号を事務所電話の短縮に登録・掲示	実施	実施	
			■マニュアルと連絡網は、携帯用冊子にし、スタッフは常に携帯	実施	実施	
			■大規模災害等が発生した場合は、行政機関と協力し、迅速な利用再開に努める	実施	実施	関連協定書の締結予定

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「安全・安心の項目」に関しては『港北AAA防犯情報メール』からのメール送信内容を当日、翌日利用者に対して口頭にて伝え、注意喚起に努めた</li> <li>・巡回点検は1日2回は最低回数としてなるべく違う人員で行うように心がけた</li> <li>・ハザードマップにおいてもスタッフ間にて危険度の共有を日頃から話し合っている</li> <li>・勉強会は年2回の防火・防災訓練時に同時に行っている</li> <li>・利用料金・コピー代金・撮影代金等の現金に関しては必ず入金機にへ入金を徹底 閉館後は機械警備を移行し対応済</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで機械警備会社から緊急出動にての深夜に電話連絡はないが、閉館時は基本動作を徹底していく</li> </ul>
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施済</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>

令和4年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和4年度計画		実施状況	
III 施設管理	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
4 防火・防災等(使命4)	2 積極的な人道的措置の実施、自発的な防災備蓄整備や地域と連携した共同防災体制の構築	(1) 日常における防災対策の実施 ■ 防災・防火訓練を実施	実施	実施	
		□ 消防・防火・防災訓練: 年2回	年2回	実施	3月・9月に実施(3月・9月の休館日に実施)
		■ 災害用備蓄品を準備するとともに、リストを作って管理し、定期的に確認、備蓄を更新	実施	実施	保管場所等の確認実施
5 緊急時の対応(使命4)	3 利用者の安全確保を最優先に考えた対応	(1) 緊急時のためのスタッフ確保 ■ 緊急時に迅速な現場対応ができるよう、近隣在住スタッフを確保	実施	実施	近隣在住のスタッフを確保済
		■ 利用者に、避難導線をお伝えし、避難場所の指導	実施	実施	
		■ 訓練により判明した課題をマニュアルに反映	実施	実施	
	4 電気主任技術者による適切な設備管理	4 電気主任技術者による適切な設備管理	■ 電気主任技術者の電気主任技術者による維持管理	実施	実施
■ 自家用電気工作物の保安、監督を実施			実施	実施	
■ 施設・設備維持管理の専門スタッフを配置			実施	実施	
■ 自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安監督業務を適正・的確に行う			実施	実施	
4 その他施設運営に関する事項	5 施設の管理を行う上で必要な資格者の配置	2種電気工事士	配置	実施	
		消防設備士乙6類・乙4類	配置	実施	
		危険物取扱者 乙4類	配置	実施	
評価項目		令和4年度計画		実施状況	
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
1 指定管理料のみに依存しない収入構造(様式22)	1 利用料金は、現行料金を維持。他施設の状況調査および利用者の声を聴き、参考意見を収集	(1) 安定した利用料金収入の確保 ■ 貸出情報をWEBサイトやSNSで発信し、稼働率の向上を図る	実施	実施	集会室の空き情報発信した
		■ 定期的に利用者の声を聞き、その内容を可能な限り運営に反映	実施	実施	受付にて鍵の貸出、返却時に要望を口頭にて確認
		■ 利用者との連携し、CDや自作のアート作品を販売する「物販」も積極的に実施	実施	実施	利用者のコンサート及び講演会にての販売は室料の倍額にて販売可能を積極的に実施
	2	(1) ロケ・撮影利用の拡大 ■ 積極的な広報PRで、ロケや撮影の利用を増やし、収入確保につなげる	□ メディア撮影・ロケ撮影協力	年間35件	年間37件
□ フォトリケーション撮影協力			年間2件	年間3件	ウエディングの前撮り撮影
2 経費削減等効率的運営の努力	1 スタッフの効率的な運営によるコスト削減と施設の魅力や価値の広い発信による利用促進で収入増を図る	(1) 効率的・効果的な維持管理運営によるコスト削減 ■ マルチジョブシステムを採用し、スタッフの効果的な配置と効率的な運用により、コスト削減に寄与	実施	実施	
		■ スタッフの定期巡回により、節電や空調管理を徹底	実施	実施	

評価	
自己評価	行政評価
【成果】 ・実施済 【課題】 ・特になし	
【成果】 ・実施済 【課題】 ・特になし	
【成果】 ・実施済 【課題】 ・特になし	
評価	
自己評価	行政評価
【成果】 ・利用料金においては、空き部屋への情報発信に努め、稼働率向上に努めた ・利用者との連携しCD等の販売も承認し、利用料金を有料として規定の倍額を収納することが出来た ・撮影に関してはあくまでも大倉山記念館が『市民利用施設』であることを撮影利用者に理解頂き、極力休館日にて対応を推奨し、スチール撮影等は利用希望日の通常利用者への撮影が本で行われる事への説明を確実に励行出来た ・撮影については件数、収納額とも今年度計画達成となっている(フォトリケーションも同様)	【評価できる点】 ・空き部屋の情報発信したことで利用者に寄り添った対応をし、稼働率を増加させる取組を行ったことが確認できます。  【更なる取組を期待する点】 ・コンサート利用者が上回っている一方で、公演後の清掃についても日頃からコミュニケーション等をしながら、施設の注意事項を伝えるよう取り組んでください。
【課題】 ・コンサート利用者における服装でラメ・スパンコール等があるドレスにおいては、利用後にラメ・スパンコールが床に落ちることが多く、清掃時間が大変かかり、清掃時に取り切れない状況である ・料金支払い時、打ち合わせ表提出時、利用当日と上記服装を着用されるであろう利用者には複数回によるお願いを徹底したい	
【成果】 ・節電、節水は館内掲示により利用者への協力で削減出来た 【課題】 ・今年度においては光熱費の中でも特に電気代金が諸般事由により大幅な金額が増額になっている。	

令和4年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

(様式22)		■エネルギー管理を強化し、次年度以降の目標策定に役立てる	実施	実施			
	2 効率的な施設運営による経費削減策の実施	(1)光熱水費の削減努力 ■日々の節電・節水・空調温度設定管理、可能であれば設備運転時間の変更を実施	実施	実施	電気代の高騰につき節電するも金額は増額		
		■設備の改善・修繕などの設備投資型省エネルギー対策(省エネルギー機器を更新導入)を可能な範囲で徐々に取り入れ、さらなる使用量削減・コスト削減を目指す	実施	実施	蛍光灯のLED化を積極的に更新		
		■施設スタッフはもちろん、各室やトイレにも節電や節水への協力を依頼する案内等を掲示し、利用者にも呼び掛ける	実施	実施	トイレに掲示し節水に呼びかけを促す		
<b>V 各種計画書・報告書の作成及び業務評価</b>	<b>業務の基準</b>	<b>取組内容</b>	<b>目標</b>	<b>年間実績</b>	<b>説明</b>	<b>自己評価</b>	<b>行政評価</b>
	1 日報、月報の作成・管理	■日報、月報の作成・管理を実施	実施	実施		【成果】 ・実施済 【課題】 ・特になし	
	2 事業計画書・事業報告書の作成・管理	■事業計画書・事業報告書の作成・管理を実施	実施	実施			
	3 業務評価の実施	■帳票を作成し月ごとに業務評価の実施	実施	実施			
<b>VI その他</b>	<b>選定要項</b>	<b>取組内容</b>	<b>目標</b>	<b>年間実績</b>	<b>説明</b>	<b>自己評価</b>	<b>行政評価</b>
1 市の重要政策課題への対応(様式25)	1 個人情報保護についての取組	■日本情報処理開発協会(JIPDEC)の「プライバシーマーク」認証に準拠した個人情報保護に努めます。グループ内の個人情報保護窓口の管理のもと、法令遵守と情報の漏洩や不正アクセスなどによるデータ破損・盗難・改ざんなどのリスクを十分に理解した上で管理体制の構築を行い、保管場所のセキュリティ強化、管理台帳の作成、リスクチェックシートの作成を実施します。また、SNSの運用ルールやマナー、個人情報の取扱いに対する理解を深めるため、コンプライアンス研修を実施 □全スタッフに対する個人情報保護研修および試験の実施:年1回	実施	実施		【成果】 ・実施済 【課題】 ・特になし	
			年1回	実施	3月に実施		
	2 情報公開についての取組	■施設窓口や電話での問合せに対し、原則的に全ての情報を公開することを前提に、その内容に応じた適切な情報の開示を行います。ただし、市との協議を必要とするもの(情報開示請求の手続きを必要とするもの)に関しては、その手続き方法を案内します。施設の管理運営に関する情報は、市民(利用者)からの請求(問い合わせ)があった時だけでなく、積極的に自主的な情報提供を行います。開示請求に対して非公開とした場合は、その旨と理由を遅滞なく通知します。	実施	実施			
	3 人権尊重についての取組	■このため私たちは、年1回、全スタッフに業務基本研修、人権研修等を実施し、公平・平等利用に関する知識習得や人権問題の正しい理解に努めます。また市や外部のセミナーにも積極的に参加し、幅広い内容の理解に努めます。構成団体ではシニア世代や障がい者の雇用に積極的に取り組んでいる実績を含め、横浜型地域貢献企業の最上位認定を受けています。	実施	実施			
		■日々の業務、維持管理業務における環境負荷低減を進めます ・維持管理業務において、ISO14001の基準に基づき、環境負荷の低減に配慮した維持管理に努め、「横浜市地球温暖化対策実行計画」「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」など市の進める環境施策に協力します。	実施	実施			



令和4年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)



評価	
自己評価	行政評価
<p><b>【成果】</b>                      ・今年度は指定管理第2期目の初年度にあたり、別途提出しました『収支予算及び報告書』記載の(当初予算額:41452千円目標に対して決算額:44988千円)と横浜市からの運営支援金を含めても数値目標を達成する事ができた。収納項目において、特に利用料金収入・自主事業・雑入(撮影)が寄与した。利用料金項目では有料公演での利用料倍額がこれまでの年より多かった。大倉山記念館の認知度がアップしている事が要因。自主事業項目では、企画した『花音コンサート』の来館者増、好評の『プリザード教室』の申し込みが確実に満員であった事、横浜市依頼の『プラットフォーム事業』、『横浜音祭り』等への参画が考えられる。雑入(撮影)項目では、撮影業界の横のつながりから、紹介案件が多く発生していることが要因で各項目とも好循環の1年間であった。利用者においてもこれまでの音楽関係の利用だけではなく、演劇・劇団の練習及び演劇公演(有料)も数多く利用。</p> <p><b>【課題】</b>                      ・好循環の1年間を受けての2年目なので、気を引き締めていく1年としたい。次年度は有料備品を増加させていきたい(利用者アンケートより要望を受けて)。今年度はコロナ禍にて事業中止にて未実行になった事業もあり、改めて協議して実行としていく。諸般の事由にて今後実行できない案件もあるので横浜市と充分協議していく。次年度も『利用者第一』をモットーとしてスタッフ一同魅力ある大倉山記念館になっていけるよう努力していく。</p>	<p><b>【評価できる点】</b>                      新型コロナウイルス感染症の影響下であったものの、全体的に数値目標を達成することができる事が確認できます。特に、代表企業の強みである「花」を視点にした事業が好評であり、多くの来館者が事業に参加したと窺えます。利用者の声を受けて、前向きに施設運営や事業実施へ対応する姿勢を確認できます。日頃から大倉山記念館職員や利用者とのコミュニケーションを大切にし、施設のハード面、ソフト面を充実させていることを評価します。</p> <p><b>【更なる取組を期待する点】</b>                      令和4年度については、感染症対策を講じながら、文化活動の場を提供しつつ、大倉山記念館を身近に感じることができイベントを実施しています。引き続き、地元や関係団体と連携をし令和5年度は様々なイベント等が実施できるよう取り組んでください。                      また、特に新型コロナウイルス感染症で実施できなかった事業について、企画実施できるよう検討し、大倉山記念館をさらにプロモーションできることを期待しております。</p>